

各 位

会 社 名 スパークス・グループ株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 阿部 修平
 (JASDAQ コード番号：8739)
 問い合わせ先 代表取締役副社長 藤井 幹雄
 電 話 番 号 03-5437-9700

平成 22 年 3 月期業績と前期実績との差異
 および特別損失、特別利益の発生に関するお知らせ

1. 平成 22 年 3 月期の連結業績（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績と前年実績との差異

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

連結経営成績		営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期		7,893	7.6	△959	-	△446	-	398	-
21 年 3 月期		7,335	△76.0	△8,045	-	△8,259	-	△23,317	-

営業収益に関しましては、残高報酬は前年同期比 38.3%減の 60 億 12 百万円、成功報酬は同 65.3%減の 8 億 5 百万円となりました。また、営業投資有価証券売買損益などにより営業収益は 78 億 93 百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、支払手数料の減少や成功報酬に連動した賞与支払額など変動経費が大きく減少したこと、及び昨年度来の経営構造改革を踏まえたグループ一体となったコスト削減への取組みにより、前年同期比 42.4%減の 88 億 52 百万円となりました。

これらの結果、営業損失は 9 億 59 百万円（前期は 80 億 45 百万円の営業損失）、経常損失は 4 億 46 百万円（前期は 82 億 59 百万円の経常損失）を計上しました。

子会社である Cosmo Investment Management Co., Ltd.の株式の一部を韓国ロッテグループに譲渡したことによる関係会社株式売却益、また前期に計上した海外子会社役員税務関連損失引当金の戻入などにより、特別利益として 29 億 79 百万円を計上した一方、他の投資有価証券の売却損、為替換算調整勘定取崩額及び経営構造改革関連費用などによる特別損失として 19 億 63 百万円を計上し、当期純利益 3 億 98 百万円となりました。

(2) 特別損失の発生について

平成 21 年 9 月 28 日付けで発表したとおり、当社子会社である SPARX Investment & Research, USA, Inc.、SPARX International, Ltd.及び SPARX Asset Management International, Ltd.の 3 社が各社の取締役会において自社を解散する旨の決議を行うことを、当社取締役会において承認し、各社は清算手続きに入っております。

当連結会計年度において、当該子会社への出資時及び当該子会社における損益計上時と、清算に伴う出資が払い戻された時の為替レートに差があることから、連結貸借対照表 純資産の部 評価・換算差額等に計上されていた「為替換算調整勘定」を取り崩し、連結損益計算書 特別損失「為替換算調整勘定取崩額」に 14 億 25 百万円を計上しております。なお、この会計処理は、

「(マイナスの) 為替換算調整勘定の取崩により純資産の金額が増加すること」と「為替換算調整勘定の取崩による特別損失の計上、つまり、純損失として純資産の金額が減少すること」により、実質的に「純資産の部」の中で両者が相殺されることとなるため、連結貸借対照表上の純資産合計の金額ならびに連結キャッシュ・フローへの影響はありません。

(3) 特別利益の発生について

特別利益としては、海外子会社役員税務関連損失引当金戻入額として、13億67百万円を計上いたしました。

2. 平成22年3月期の個別業績(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 個別業績と前年実績との差異

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前期増減率)

個別経営成績	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期	840	△43.3	△159	-	375	△57.6	△6,631	-
21年3月期	1,483	△26.5	△293	-	885	102.4	△7,662	-

関係会社業務受託収入等により、営業収益は8億40百万円(前期比43.3%の減少)となり、主として以下に記載する理由により、当期純損失については、66億31百万円になりました。

(2) 特別損失の発生について

上記1.に記載の当社子会社3社の清算手続の中で当該子会社から出資金の払戻を実施したことにより、当該子会社への出資時に適用した為替レートと出資が払い戻された時の為替レートとの差異を、当社個別業績上、特別損失として75億82百万円計上しました。なお、上記個別業績上の特別損失75億82百万円のうち、当該子会社を連結の範囲から除外したことによって、6億64百万円を連結業績上の特別損失 為替換算調整勘定取崩額に含めて計上しております。

このほかに、個別業績上の特別損失として、関係会社株式評価損を18億5百万円計上しております。

以 上